

令和 7 年 12 月 4 日

愛 媛 大 学

## 愛媛とインドが描く、スポーツの新境地 —世界水準のデータ解析がここにある—

愛媛大学は令和 7 年 11 月にインド工科大学ハイデラバード校（以下 IITH）と大学間連携協定を締結しました。

愛媛大学社会共創学部では、今回の協定締結以前から IITH と協働し、地域のプロスポーツのデータ解析を通じて世界水準のスポーツデータ分析を目指す国際プロジェクトに取り組んでおり、昨年に続き、本年も以下の日程でプロジェクトを実施いたします。

また、本プロジェクトは、科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」の一環として実施しています。

### \*さくらサイエンスプログラム

科学技術振興機構（JST）に大学が申請し採択されるプログラム

新たな時代の社会を担う、世界の優れた人材を日本に短期間招き、日本の最先端な科学技術や文化に触れていただく。産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の青少年の我が国への招へい等を通じて、我が国の青少年との科学技術分野の交流を行う国際青少年サイエンス交流事業。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

### 記

期 間：令和 7 年 12 月 8 日（月）～ 21 日（日）

場 所：愛媛大学城北キャンパス他

参加者：インド工科大学ハイデラバード校研究者（学生 7 名・教員 2 名）、  
愛媛大学学生

### 本件に関する問い合わせ先

社会共創学部地域資源マネジメント学科  
准教授 山中 亮

TEL：089-927-9388、090-4970-6062

Mail：yamanaka.akira.xk@ehime-u.ac.jp

※送付資料 3 枚（本紙を含む）

2025年度 さくらサイエンス招へいプログラム 概要等

本プログラムの目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛のプロスポーツデータ × インドの高度解析力 日本のJリーグやBリーグの高品質なデータを、インドの先端的なデータサイエンスで解析。地域やブランドに依存しない、世界レベルの成果創出を目指します。</li> <li>・現場理解とモデル改善 インドの学生は事前解析に加え、来日して試合や練習、スタジアム見学等を実施。現場の臨場感を踏まえたデータ解析モデルの改善を行います。</li> <li>・戦術的意思決定を支援 膨大なデータから戦術システム解析、交代タイミングやDFのボールへの寄せ方など、勝利確率を高める戦術的ヒントを抽出。チームの意思決定をデータで支援します。</li> </ul>
テーマ	スポーツ健康データの共同解析が育む日印のグローバルIT人材育成輩出に向けたプラットフォーム構築プロジェクト
期間	2025年12月8日～2025年12月21日
受入機関	愛媛大学社会共創学部 山中研究室
送出機関	インド工科大学ハイデラバード校（IITH）
参考	昨年度活動写真



昨年度の様子（FC今治：アシックス里山スタジアム）



昨年度の様子（愛媛オレンジバイキングス：まつやまコミュニティーセンター）

## 【スケジュール】

	日付	曜日	AM/PM	プログラム
1日目	12月8日	月	AM	【移動】関西空港入国
			PM	【移動】関西空港→伊丹空港→松山空港到着 オリエンテーション①
2日目	12月9日	火	AM	オリエンテーション② 愛媛大学内見学、愛媛大学生との交流
			PM	フィールドワーク① スポーツデータ分析の現場（バスケットボールTR） 14:00～16:00@コミセン
3日目	12月10日	水	AM	事前学習 共同研究に向けたチームビルディング
			PM	フィールドワーク② スポーツデータ分析の現場（バスケットボールGAME）
4日目	12月11日	木	AM	フィールドワーク③ スポーツデータ分析の現場（サッカー）@広島
			PM	フィールドワーク④ スポーツデータ分析の現場（サッカー）@広島 ディスカッションセミナー
5日目	12月12日	金	AM	市内散策 10:00～12:00小泉製菓（インド向けスイーツ開発）
			PM	メンタリング①（方向性確認・技術支援）
6日目	12月13日	土	AM	共同研究活動①
			PM	共同研究活動②
7日目	12月14日	日	AM	共同研究活動③
			PM	共同研究活動④
8日目	12月15日	月	AM	中間発表準備
			PM	中間発表
9日目	12月16日	火	AM	共同研究活動⑤
			PM	学部長表敬13:00 共同研究活動⑥
10日目	12月17日	水	AM	メンタリング②（プロトタイプレビュー）
			PM	共同研究活動⑦ 企業訪問15:00～（ダイキアクシス）
11日目	12月18日	木	AM	成果発表①
			PM	成果発表②
12日目	12月19日	金	AM	今後に向けてのディスカッション（振り返り・今後の方向性について）
			PM	レクチャー（岡井利之氏） 意見交換会・ネットワーキング（18:00～）
13日目	12月20日	土	AM	修了式
			PM	空港へ移動（大学→松山空港→伊丹空港→関西空港→ホテル）
14日目	12月21日	日	AM	関西空港出国
			PM	－